
何個めかの物語

かかし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何個めかの物語

【Nコード】

N8588J

【作者名】

かし

【あらすじ】

青年は旅にでるチートな力を、引っさげて！！大量の技がです。

始め（前書き）

駄文です。中学生です。すいませんでも、がんばります。

始め

数々の世界の戦士は星の数ほどいる。中には、マゼンタ色だったりなりゆきで闘ったりしたりして戦う意思がなかったりしたりしていろいろある、そして、ここに新しい物語が始まるのだった。

「なあ」

「なに？」

「いつになつたらいけるんだよ」黒髪の青年が言つ心なしか声が不気減だ。

「まあまあ道が安定してるから今日にはいけるよ」長髪の男が言う。

ババアアアアアアア

「お、繋がったみたい」

「ようやくか、ふう」黒髪の青年が言う最後のため息がかなり重い
「じゃ、行くか・・・ありがとな、ハデス」うす笑いしながらハデスを見る。」

「いいよたのんだのは、ぼくだし」長髪の男、ハデスは、笑いながら手をふる

「名前はどする？」

黒髪の青年は、「もう考えてある」

「そう、じゃ、がんばれよー」

「ああ・・・しゃっあっ！」

黒髪の青年は、気合を入れると渦に入ってしまった。

「彼ならできる。」希望にみちた顔をしながら・・・

ブルルルルルル

「んっ？」

「もしもし・・・ゼウスか、どうしたんだ？・・・・・・えー

――」

ハデスの叫びが、響いていった……。

始め（後書き）

すみません、できれば次回も見てください。

続き（前書き）

下手です。

続き

「ふう・・・つかれた」そう言うのは、黒髪の青年だ。

「ん？」ピピピピピピ

「もしもし」彼がもっているのは、特別にハデスからもらった小型の端末である。

「なんだ・・・」

「実は他にもそっちの世界にいつている人がいるんだ。」

「誰が来ているんだ？」

「君の友人3人。」

そのとき、どこからか遠くから悲鳴と怒声がきこえる。

「いつてくる・・・」

「わかった死にそうになったら逃げるんだよ」

「わかつてる・・・起動」ポチツと端末のスイッチをきくと、「出番か・・・マスター」

と、電子音が聞こえる。

>チェンジ<

ガシヤヤヤヤヤン

今ここに異世界の戦士が降臨する

続き（後書き）

がんばってますが・・・難しいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8588j/>

何個めかの物語

2010年10月9日02時40分発行